

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成21年2月13日
【四半期会計期間】	第46期第3四半期（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）
【会社名】	株式会社ODKソリューションズ
【英訳名】	ODK Solutions Company, Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 竹内 康夫
【本店の所在の場所】	大阪府大阪市中央区道修町一丁目6番7号
【電話番号】	06 - 6202 - 3700
【事務連絡者氏名】	常務取締役総務部長 出口 利和
【最寄りの連絡場所】	大阪府大阪市中央区道修町一丁目6番7号
【電話番号】	06 - 6202 - 0413
【事務連絡者氏名】	常務取締役総務部長 出口 利和
【縦覧に供する場所】	株式会社ODKソリューションズ東京支店 （東京都中央区新川一丁目28番25号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪府大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第3四半期 累計期間	第46期 第3四半期 会計期間	第45期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 12月31日	自平成20年 10月1日 至平成20年 12月31日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
売上高(千円)	3,069,573	1,414,795	5,466,033
経常利益(千円)	93,316	239,038	698,462
四半期(当期)純利益又は四半期純損失() (千円)	77,066	70,423	410,094
持分法を適用した場合の投資利益(千円)	-	-	-
資本金(千円)	-	637,200	637,200
発行済株式総数(千株)	-	82	82
純資産額(千円)	-	3,002,162	3,218,165
総資産額(千円)	-	4,449,766	4,930,034
1株当たり純資産額(円)	-	36,611.74	39,245.92
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は四半期純損失金額() (円)	939.84	858.83	5,001.15
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	500.00	-	1,000.00
自己資本比率(%)	-	67.5	65.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	794,182	-	307,765
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	268,336	-	1,064,908
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	123,840	-	81,166
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	-	322,931	972,617
従業員数(人)	-	112	113

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第46期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失を計上しており、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第46期第3四半期会計期間及び第45期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期会計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

3【関係会社の状況】

当第3四半期会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

提出会社の状況

平成20年12月31日現在

従業員数(人)	112 (161)
---------	-----------

(注) 人材派遣会社からの派遣社員等の臨時雇用者の当第3四半期会計期間末人員数を()外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当社の主要事業はシステム運用事業であります。事業の特性上、事業別に生産規模を金額あるいは数量で示すことはいたしておりません。

(2) 受注状況

当社の主要事業はシステム運用事業であります。事業の特性上、事業別に受注規模を金額あるいは数量で示すことはいたしておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期会計期間の販売状況を事業別に示すと、下表のとおりであります。

事業別	当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
システム運用(千円)	1,023,314
システム開発及び保守(千円)	300,711
機械販売(千円)	90,768
合計(千円)	1,414,795

(注) 1. 当第3四半期会計期間における主要な販売先及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

販売先	当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)
大阪証券金融株式会社	363,590	25.7
株式会社だいこう証券ビジネス	355,816	25.1

2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期会計期間（平成20年10月1日～12月31日）におけるわが国経済は、世界的な金融危機から、信用収縮と景況感の悪化が急速に高まり、企業の設備投資意欲の後退が鮮明になっております。情報サービス業界におきましても、景気先行きの不透明感から、IT投資抑制が進んでおり、売上高は3ヶ月連続で減少しております。

〔経済産業省 特定サービス産業動態統計（平成20年11月分確報）より〕

当社におきましては、中長期的な事業成長を実現すべく、事業拡張力や情報セキュリティ及び処理能力の向上を目的とした大阪センターの移転作業が、当第3四半期をもって完了いたしました。

当第3四半期会計期間の売上高は、システム運用が順調に増加し、システム開発においても、システム災害復旧サイト開発、証券総合システム「SENS21」関連のシステム開発等による売上により、1,414,795千円となり、営業利益は237,749千円、経常利益は239,038千円となりました。

四半期純利益は、大阪センターの移転にともなう事務所移転費用（101,622千円）を特別損失に計上したことにより、70,423千円となりました。通期の業績につきましては、株券電子化にともなうシステム開発等の売上計上が第4四半期に見込まれることから、現時点においては予定どおりの見通しであります。

システム運用事業

当第3四半期会計期間は、証券総合システム「SENS21」等の運用手数料の順調な伸びから、1,023,314千円となりました。その結果、第3四半期累計期間では、2,288,979千円となりました。

システム開発及び保守事業

当第3四半期会計期間は、システム災害復旧サイト開発のインフラ環境構築にかかる売上計上、証券総合システム「SENS21」関連のシステム開発等によって、300,711千円となりました。その結果、第3四半期累計期間では、660,884千円となりました。

機械販売事業

機械販売の売上高は、定例の機器保守料に加え、システム災害復旧サイト開発向け機器類の売上計上等により、当第3四半期会計期間においては、90,768千円となりました。その結果、第3四半期累計期間では、119,709千円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前四半期会計期間末に比べ125,537千円減少し、322,931千円となりました。

当第3四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、124,840千円の支出となりました。これは主に、大型システム開発案件の進行により、たな卸資産（仕掛品）が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、41,929千円の収入となりました。これは主に、有価証券及び投資有価証券の売却によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、42,626千円の支出となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期会計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期会計期間において、重要な異動があった主要な設備は下表のとおりであります。

平成20年12月31日現在

事業所名 (所在地)	設備の内容	帳簿価格(千円)					従業員数 (人)
		建物	備品及び 器具	土地 (面積㎡)	差入保証金	合計	
新本社・ 大阪新センター (大阪市中央区)	統括業務施設、 システム開発・ 運用設備	239,980	41,264	- (-)	124,021	405,266	95

- (注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。
2. 上記の金額には前事業年度末及び第1、第2四半期会計期間末における計上分を含んでおります。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期会計期間において、前四半期会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について完了したものは次のとおりであります。

事業所名 (所在地)	設備の内容	投資金額 (千円)	完了年月
新本社・大阪新センター (大阪市中央区)	電算室、事務所	371,047	平成20年10月
新本社・大阪新センター (大阪市中央区)	ホストマシン	369,990	平成20年10月
新本社・大阪新センター (大阪市中央区)	サーバー	151,850	平成20年10月

- (注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。
2. 上記の金額は購入価格を基に算出してあります。
3. 上記の金額にはリースにより取得した金額を含んでおります。
4. 上記の金額には前事業年度末及び第1、第2四半期会計期間末における計上分を含んでおります。

当第3四半期会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、回収、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	328,000
計	328,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成20年12月31日)	提出日現在発行数 (株) (平成21年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	82,000	82,000	大阪証券取引所 (ヘラクレス)	単元株制度は採用し ておりません。
計	82,000	82,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成20年10月1日～ 平成20年12月31日	-	82,000	-	637,200	-	607,200

(5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりませ
ん。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間の末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成20年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成20年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 82,000	82,000	1(1) 「発行済株式」の「内容」欄に記載のとおりであります。
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	82,000	-	-
総株主の議決権	-	82,000	-

【自己株式等】

平成20年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高(円)	35,800	33,900	31,700	29,400	27,500	23,850	18,600	16,450	20,000
最低(円)	30,450	30,000	27,010	26,800	22,120	18,100	12,000	14,350	15,000

(注) 最高・最低株価は、大阪証券取引所（ヘラクレス市場）におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号、以下「四半期財務諸表等規則」という。）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び当第3四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成していません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	412,931	1,262,617
売掛金	577,955	803,965
有価証券	99,926	99,998
商品	26,520	2,799
仕掛品	1,059,670	327,742
繰延税金資産	123,413	91,138
その他	99,431	129,354
貸倒引当金	3,466	4,817
流動資産合計	2,396,383	2,712,801
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1 260,370	1 108,338
工具、器具及び備品(純額)	1 72,076	1 28,097
リース資産(純額)	1 47,969	-
有形固定資産合計	380,416	136,436
無形固定資産		
ソフトウェア	88,032	156,498
リース資産	25,528	-
その他	4,517	4,487
無形固定資産合計	118,078	160,985
投資その他の資産		
投資有価証券	580,541	892,076
繰延税金資産	340,126	327,514
差入保証金	171,221	314,158
長期預金	350,000	250,000
その他	113,050	136,125
貸倒引当金	53	63
投資その他の資産合計	1,554,888	1,919,811
固定資産合計	2,053,383	2,217,233
資産合計	4,449,766	4,930,034

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	259,320	256,502
未払金	7,162	18,349
未払費用	106,700	71,206
リース債務	15,612	-
未払法人税等	3,910	344,610
賞与引当金	69,000	134,000
その他	59,221	89,526
流動負債合計	520,927	914,194
固定負債		
リース債務	62,481	-
退職給付引当金	683,283	627,987
役員退職慰労引当金	150,951	169,686
その他	29,960	-
固定負債合計	926,676	797,673
負債合計	1,447,604	1,711,868
純資産の部		
株主資本		
資本金	637,200	637,200
資本剰余金	607,200	607,200
利益剰余金	1,777,130	1,977,196
株主資本合計	3,021,530	3,221,596
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,367	3,430
評価・換算差額等合計	19,367	3,430
純資産合計	3,002,162	3,218,165
負債純資産合計	4,449,766	4,930,034

(2)【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	2 3,069,573
売上原価	2,498,313
売上総利益	571,259
販売費及び一般管理費	1 512,797
営業利益	58,462
営業外収益	
受取利息	6,395
受取配当金	1,780
保険解約返戻金	27,585
その他	1,272
営業外収益合計	37,034
営業外費用	
支払利息	997
投資事業組合運用損	1,182
営業外費用合計	2,180
経常利益	93,316
特別利益	
貸倒引当金戻入額	1,361
特別利益合計	1,361
特別損失	
固定資産除却損	23,202
事務所移転費用	3 188,346
特別損失合計	211,548
税引前四半期純損失()	116,870
法人税、住民税及び事業税	5,082
法人税等調整額	44,886
法人税等合計	39,804
四半期純損失()	77,066

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
売上高	1,414,795
売上原価	996,676
売上総利益	418,119
販売費及び一般管理費	¹ 180,369
営業利益	237,749
営業外収益	
受取利息	1,505
受取配当金	87
その他	183
営業外収益合計	1,776
営業外費用	
支払利息	487
営業外費用合計	487
経常利益	239,038
特別損失	
固定資産除却損	16,727
事務所移転費用	² 101,622
特別損失合計	118,349
税引前四半期純利益	120,689
法人税、住民税及び事業税	945
法人税等調整額	49,320
法人税等合計	50,265
四半期純利益	70,423

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失()	116,870
減価償却費	145,946
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,361
賞与引当金の増減額(は減少)	65,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	55,295
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	18,735
受取利息及び受取配当金	8,176
支払利息	997
固定資産除却損	23,202
売上債権の増減額(は増加)	226,010
たな卸資産の増減額(は増加)	755,648
仕入債務の増減額(は減少)	2,817
未収消費税等の増減額(は増加)	2,926
未払消費税等の増減額(は減少)	53,913
その他	108,315
小計	460,045
利息及び配当金の受取額	7,120
利息の支払額	997
法人税等の支払額	340,259
営業活動によるキャッシュ・フロー	794,182
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	190,000
定期預金の払戻による収入	290,000
有価証券の取得による支出	99,874
有価証券の売却による収入	100,000
有価証券の償還による収入	100,000
投資有価証券の取得による支出	100,067
投資有価証券の売却による収入	90,000
投資有価証券の償還による収入	205,984
有形固定資産の取得による支出	265,172
無形固定資産の取得による支出	2,799
その他	140,265
投資活動によるキャッシュ・フロー	268,336
財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	3,133
配当金の支払額	120,706
財務活動によるキャッシュ・フロー	123,840
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	649,686
現金及び現金同等物の期首残高	972,617
現金及び現金同等物の四半期末残高	322,931

【継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況】

当第3四半期会計期間（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）

該当事項はありません。

【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
会計処理基準に関する事項の変更	<p>(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更</p> <p>たな卸資産</p> <p>通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、個別法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号平成18年7月5日）が適用されたこととともない、個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。</p> <p>これにより、当第3四半期累計期間の損益に与える影響はありません。</p> <p>(2) リース取引に関する会計基準の適用</p> <p>所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する事業年度に係る四半期財務諸表から適用することができることになったこととともない、第1四半期会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。</p> <p>なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。</p> <p>これにより、当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。</p>

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)		前事業年度末 (平成20年3月31日)	
1.有形固定資産の減価償却累計額	100,259千円	1.有形固定資産の減価償却累計額	203,205千円

(四半期損益計算書関係)

当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
役員報酬	90,323千円
従業員給与	152,171千円
賞与引当金繰入額	15,214千円
役員退職慰労引当金繰入額	29,465千円
退職給付費用	35,444千円
減価償却費	11,367千円
2. 当社事業は、システム開発の売上計上が顧客の決算期である3月に集中するほか、学校法人向け情報処理アウトソーシングを中心とするシステム運用売上も、第4四半期に急増するという特性があります。このため、第3四半期累計期間の売上高は、低い水準にとどまる場合があります。	
3. 事務所移転費用の内容は次のとおりであります。	
移転作業料等	56,147千円
原状回復費用	51,341千円
移転前賃料等	33,147千円
その他	47,710千円
計	188,346千円

当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
役員報酬	28,443千円
従業員給与	38,997千円
賞与引当金繰入額	15,214千円
役員退職慰労引当金繰入額	10,278千円
退職給付費用	18,255千円
減価償却費	6,823千円
2. 事務所移転費用の内容は次のとおりであります。	
移転作業料等	55,906千円
原状回復費用	34,141千円
移転前賃料等	1,685千円
その他	9,889千円
計	101,622千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年12月31日現在)	
現金及び預金勘定	412,931千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	90,000千円
現金及び現金同等物	322,931千円

(株主資本等関係)

当第3四半期会計期間末(平成20年12月31日)及び当第3四半期累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

1.発行済株式の種類及び総数

普通株式 82,000株

2.自己株式の種類及び株式数

該当事項はありません。

3.新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4.配当に関する事項

(1)配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年6月26日 定時株主総会	普通株式	82,000	1,000	平成20年3月31日	平成20年6月27日	利益剰余金
平成20年10月29日 取締役会	普通株式	41,000	500	平成20年9月30日	平成20年12月10日	利益剰余金

(2)基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

5.株主資本の金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(有価証券関係)

当第3四半期会計期間末(平成20年12月31日)

その他有価証券で時価のあるものが、会社の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前事業年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

	取得原価(千円)	四半期貸借対照表計上額 (千円)	差額(千円)
その他	103,817	84,605	19,211
合計	103,817	84,605	19,211

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期会計期間末(平成20年12月31日)

当社はデリバティブ取引を全く行っておりませんので、該当事項はありません。

(持分法損益等)

当第3四半期累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

当第3四半期会計期間（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）
当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)		前事業年度末 (平成20年3月31日)	
1株当たり純資産額	36,611.74 円	1株当たり純資産額	39,245.92円

2. 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額

当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
1株当たり四半期純損失金額	939.84円	1株当たり四半期純利益金額	858.83円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失を計上しており、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失() (千円)	77,066	70,423
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失 () (千円)	77,066	70,423
期中平均株式数(千株)	82	82

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	
所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、平成20年3月31日までの事業年度に属する取引について、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて処理を行っており、当第3四半期会計期間末におけるリース取引残高に前事業年度末に比べて著しい変動が認められます。	
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 (借主側)	
・未経過リース料残高相当額	
1年内	129,842千円
1年超	462,232千円
合計	592,075千円

2【その他】

平成20年10月29日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (イ) 中間配当による配当金の総額 41,000千円
- (ロ) 1株当たりの金額 500円00銭
- (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成20年12月10日

(注) 平成20年9月30日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払を行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年2月13日

株式会社ODKソリューションズ
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小竹 伸幸 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 藤田 立雄 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ODKソリューションズの平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第46期事業年度の第3四半期会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び第3四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ODKソリューションズの平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期会計期間及び第3四半期累計期間の経営成績並びに第3四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲には、XBRLデータ自体は含まれておりません。